

コールセンター Q&A

Q97

血液一般検体や凝固検査検体で「凝固のため検査不能」の連絡がありました。今後何に注意すればいいですか。

A97

抗凝固剤が入った採血管の注意点は2点あります。

1)規定量（白線まで）の採血をお願いします。

検査項目	末梢血液一般検査	末梢血液像	血液凝固検査
容器記号	g		④
抗凝固剤 (規定量)	EDTA-2K (2mL)		3.2%クエン酸 Na (1.8mL)
理由	血液量が多すぎると凝固の原因になり検査不能となる場合があります。少ないと細胞の萎縮や変性、クエン酸量比変化が起こり検査不能となる場合があります。このように、多すぎても少なすぎても抗凝固剤と血液との比率が異なり正確な検査結果が出ません。		

2)採血後は速やかに十分な転倒混和をお願いします。

血液が凝固する前に早く抗凝固剤と混ぜるため採血直後にゆっくり5回程度、泡立てないように転倒混和してください。

お問い合わせ：☎代表 0120-14-7191(フリーダイヤル) / 担当 血液・尿一般係

きやちボール

昨年末に、ドック健診を受診しました。昨年と比較して、体重は1kg 増え、腹囲も1cm 増え、LDL-C は基準範囲を超えていました。普段の不規則な生活と運動不足の結果がそのまま健診結果に表れていました。今年から週末には、軽いジョギングを開始しています。食生活では、帰宅したら、すぐに食べて、そのまま寝る…という状況でした。今後は、週に2日は早く帰って、ゆっくり食べて、夜のウォーキングを楽しみたいと思っています。

さて、今号では、疾患別検査ガイド脂質異常症2018学術講演会を特集しました。次回の疾患別検査ガイドも私たちの生活にとっても身近なテーマである「骨粗鬆症」の発刊を予定しています。発刊後には、学術講演会を開催いたしますので、ぜひご来場ください。お待ちしております。

藤本 誠 (営業課課長)

<広報委員> 谷敷 圭美 / 枡本 健 / 藤井 ひとみ / 三宅 康雄 / 加藤 与旨多 / 藤本 彩咲日